

1960年の成長と発展

今年の「日光市広報」新年号を開いてみると、一面のトップに、「本年最大の課題は、市民憲章の実現」と書いてある。

市制六周年にあたる昭和三十一年、つまり今年、全市民が市民憲章を根本精神に、いわゆる「黄金の年」を築き上げていたはずであった。

師走もなほ、ゆくゆく昭和三十一年を送るにあたり、この一年をみんなふりかえり、伸びたところは、みなでよく、反省する点は、大いに反省して、新しい一年を迎える心がまえとした。

ウインタースポーツ

冬の日光の活気の源は、なんといってもウインタースポーツ。「市民皆スキー」をスローガンに、市営リンクも整備され、リンクは連日大にぎわい。

この冬から市営リンクの固定券が、三リンケ共通で使えるようになったことも好評で、二月七日(東照宮)二月十四日(細尾)の「スケート祭り」も盛況だった。

スキー場も整備されたことで、スキーヤーが予想以上に多く、一月三十日、三十一日の両日、スキー、スケートの実態調査を実施したり、さらに改善すべく努力がはらわれた。

消防

一月六日、日光小学校校庭に、元氣な母会が響く。消防通達(出初式)が、全団員消防車運送らねの街頭行進ののりかたで、点検の結果は、きわめて優秀、今後とも日光を火から守る大切な使命をまっとうされた。いよいよ佐々木消防長から激励の講評が行われた。

六月の市役所機構改革で、消防本部内に「日光市消防署」が併置され、消防団との協力で、消火については、万全のかまえでのぞむことになる。

今年一年間をふりかえってみると、十二月初旬、すでに昨年(二十四年)に近い二十三件の出火をみている。その大半が、不注意の出火と見れば、考えさせられずにはいられない。

秋の全国火災予防運動週間の行事として、十一月一日、消防

国民年金

今年待望の国民年金が実施になり、二月二十四日には、二百九十八名に、初の年金証書が交付された。この日、証書が交付された二百九十八名のうち、母(二十四名)の母子(二十四名)の三層で、いずれも無出制。これについて、証書交付)

出制(掛金制)も実施されるので、それらの事務が進められた。(写真④国民年金の証書交付)

ユース・ホステル

冬期間は、他期間にくらべてユースホステルの利用者が少ないので、この期間を利用して、一月二十四日、二月十四日、三月十三日の三回、ステレオ・コンサートを開催、盛況だった。

春から夏にかけては、ユースホステルの利用者が急激に増加し、十月末までには四百三十四名が宿泊している。

ユースホステルは、宿泊以外にも利用され、ガール・スカウトの講習会や、並木青年会の研修会など、各種の会合に利用されている。

国土美化

五月、大倉が弱かれた。ほうきをついでの湖前行進、記念植樹、モテル清掃)。

この日特別の行事は行なわれなかったが、広報の係で市民の意見を求めた。

「市民憲章は、市民がめいめいに、自分の心の中で守られたいことで、それには長い時間が必要」「市民憲章のPRがたいがい」「市民憲章について、市役所は、どれだけの努力をして

市営住宅

市民の住宅問題の一助にと、市ではこれまで多数の市営住宅を建設してきたが、三十四年度施行のブロック六戸建、二棟一戸建八棟が、御幸町志波湖湖畔に完成、四月十五日に二世帯が入居した。(写真⑤御幸町木造市営住宅)

教育施設

今年、新たな教育施設の改善に力が入れられ、東中学校が竣工、費五百十三万円で、普通教室四教室が三月末日完成、新学期から使用された。

近代設備をほころ清滝小学校で、第二頭車を完成、七月二十七日落成式を行なった。

「立派な校舎ができたのだから、今更け立派な内容にしてほしい」と祝詞を受けた清滝小学校では、その後、全校あげて立派な学校にする努力がはらわれているが、八月一日からは、清滝地区二戸に「愛の鐘」を高くならしめている。

一方、日光市はじめての学校

納税

市財政の根本となる納税については、今年第二回自主納税体制を基本原則として納税時組合の拡充強化をはかった。

この結果、組合設置数は、三十一組合、組合員四千八百人、前年の約四倍に飛躍した。

こうした納税組合とならんで、納税の自主性を高めたこと、納税の促進に大いに貢献した。

また本年度が、固定資産税の課税標準を定める標準年度にあたるので、新課税による家屋の評価を全面的に実施した。

市民憲章

四月十五日、市民憲章が制定されて、一周年目にあたる。

この日特別の行事は行なわれなかったが、広報の係で市民の意見を求めた。

「市民憲章は、市民がめいめいに、自分の心の中で守られたいことで、それには長い時間が必要」「市民憲章のPRがたいがい」「市民憲章について、市役所は、どれだけの努力をして

機構改革

一月一日に、市役所内部の機構改革が実施され、「観光経済課」が「観光課」と「経済課」に独立したのをはじめ、各課内にも多少の係制改革が行なわれた。

この機構改革は、事務効率の向上をはかるための第一歩として、第一回の改革で、第二回の改革まで、市民窓口の一本化について、実施され、今後の研究課

広報

昭和三十一年一月一日付新年号(四十七号)から、今号(五十八号)まで、毎月一回、十二回の「日光市広報」を発行した。

別に財務から、財政事情の公表を併外として、二回発行した。事務上の都合で、一月発行のときも、毎月一回発行とする。そのほかでは、広報車の運行、掲示板の整備なども実施した。

歳末滞納整理月間

すでに、御承知のことと思いますが、本年度から税制度本来の姿であります自主納税のたてまえにもとずいて「一窓納税」の確立を推進してまいりましたところ、納税組合の設立も、活発化し、じょじょにその成果をあげつつあります。このことについては、市民各位の御協力のためと深く感謝いたします。

さて、今月は歳末にあたり、一年のしめくくりとして、市税滞納金を一掃し、健全なる市政確立を目ざして、十二月一日から一か月間を整理月間といたします。このため、訪問による徴取および現在までの催告書にない方については、特別班による滞納処分執行を平行して実施することになります。

納税者各位におかれましても、このさい、ふるって完納し、新年を明るく気持よく迎えたいようになりますよう、納税に、なおいっそうの御協力をいただきたく、お願いいたします。

新生活運動

『くらしの計画をたてる運動』

いろいろの思い出を残して、1960年が去って行きます。そして、新しい年がまたやってきます。この新しい年のはじめを、心のくざりとして、わたくしたちのくらしの計画をたてよう。

「むだ」とはなにかみんな考えてみましょう。「あれはむだだ」「これはみえた」とよくいいます。いったい「むだ」とはどのようなことなのか、みんな考えてみましょう。

市営住宅

御幸町木造市営住宅)。

納税組合 加入促進運動

歳末滞納整理月間

くらしの計画をたてよう。

くらしの計画をたてよう。

いろいろの思い出を残して、1960年が去って行きます。そして、新しい年がまたやってきます。この新しい年のはじめを、心のくざりとして、わたくしたちのくらしの計画をたてよう。

「むだ」とはなにかみんな考えてみましょう。「あれはむだだ」「これはみえた」とよくいいます。いったい「むだ」とはどのようなことなのか、みんな考えてみましょう。

くらしの計画をたてよう。

いろいろの思い出を残して、1960年が去って行きます。そして、新しい年がまたやってきます。この新しい年のはじめを、心のくざりとして、わたくしたちのくらしの計画をたてよう。

「むだ」とはなにかみんな考えてみましょう。「あれはむだだ」「これはみえた」とよくいいます。いったい「むだ」とはどのようなことなのか、みんな考えてみましょう。

納税組合 加入促進運動

歳末滞納整理月間

くらしの計画をたてよう。

いろいろの思い出を残して、1960年が去って行きます。そして、新しい年がまたやってきます。この新しい年のはじめを、心のくざりとして、わたくしたちのくらしの計画をたてよう。

「むだ」とはなにかみんな考えてみましょう。「あれはむだだ」「これはみえた」とよくいいます。いったい「むだ」とはどのようなことなのか、みんな考えてみましょう。

くらしの計画をたてよう。

いろいろの思い出を残して、1960年が去って行きます。そして、新しい年がまたやってきます。この新しい年のはじめを、心のくざりとして、わたくしたちのくらしの計画をたてよう。

「むだ」とはなにかみんな考えてみましょう。「あれはむだだ」「これはみえた」とよくいいます。いったい「むだ」とはどのようなことなのか、みんな考えてみましょう。

くらしの計画をたてよう。

いろいろの思い出を残して、1960年が去って行きます。そして、新しい年がまたやってきます。この新しい年のはじめを、心のくざりとして、わたくしたちのくらしの計画をたてよう。

「むだ」とはなにかみんな考えてみましょう。「あれはむだだ」「これはみえた」とよくいいます。いったい「むだ」とはどのようなことなのか、みんな考えてみましょう。